

LM・ユーロ 毎月分配型ファンド

運用報告書（全体版）

第190期	決算日	2018年6月18日
第191期	決算日	2018年7月18日
第192期	決算日	2018年8月20日
第193期	決算日	2018年9月18日
第194期	決算日	2018年10月18日
第195期	決算日	2018年11月19日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	主としてユーロ建て債券に投資し、ユーロ短期金利を上回るインカムゲインを獲得することにより、ユーロ短期金利水準の分配を毎月行い、ユーロ原資産元本の安定した運用成果を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド	主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券および資産担保証券等を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月18日、休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「LM・ユーロ毎月分配型ファンド」は、2018年11月19日に第195期の決算を行いましたので、第190期、第191期、第192期、第193期、第194期、第195期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当報告書に関するお問い合わせ先：

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<http://www.leggmason.co.jp>

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 騰 落					
	円	円	%	%	%	%	百万円		
166期(2016年6月20日)	6,332	20	△3.4	98.4	△3.7		2,240		
167期(2016年7月19日)	6,228	20	△1.3	97.3	△3.8		2,166		
168期(2016年8月18日)	5,968	20	△3.9	99.1	△3.9		2,049		
169期(2016年9月20日)	6,008	20	1.0	98.3	△4.0		2,039		
170期(2016年10月18日)	6,008	20	0.3	97.7	△4.0		2,001		
171期(2016年11月18日)	6,123	20	2.2	89.0	△4.1		2,015		
172期(2016年12月19日)	6,417	20	5.1	96.3	△3.6		2,064		
173期(2017年1月18日)	6,277	20	△1.9	92.6	△3.7		1,989		
174期(2017年2月20日)	6,211	20	△0.7	97.5	△3.7		1,953		
175期(2017年3月21日)	6,251	20	1.0	98.6	△3.2		1,910		
176期(2017年4月18日)	5,982	20	△4.0	97.5	△8.5		1,810		
177期(2017年5月18日)	6,358	20	6.6	104.8	△8.7		1,890		
178期(2017年6月19日)	6,349	20	0.2	98.5	△8.1		1,855		
179期(2017年7月18日)	6,580	20	4.0	88.6	△7.4		2,131		
180期(2017年8月18日)	6,520	20	△0.6	94.1	△30.4		2,927		
181期(2017年9月19日)	6,747	20	3.8	95.0	△40.7		3,255		
182期(2017年10月18日)	6,662	20	△1.0	71.3	△32.4		4,099		
183期(2017年11月20日)	6,622	20	△0.3	83.5	△41.2		5,561		
184期(2017年12月18日)	6,638	20	0.5	97.6	△60.8		5,926		
185期(2018年1月18日)	6,773	20	2.3	92.4	△60.2		6,122		
186期(2018年2月19日)	6,574	20	△2.6	95.9	△64.1		5,594		
187期(2018年3月19日)	6,438	20	△1.8	95.7	△64.1		5,514		
188期(2018年4月18日)	6,541	20	1.9	95.7	△64.2		5,623		
189期(2018年5月18日)	6,436	20	△1.3	95.6	△64.2		5,556		
190期(2018年6月18日)	6,263	20	△2.4	96.0	△61.3		5,401		
191期(2018年7月18日)	6,418	20	2.8	96.4	△54.7		5,624		
192期(2018年8月20日)	6,142	20	△4.0	97.1	△55.1		5,355		
193期(2018年9月18日)	6,320	20	3.2	96.6	△49.4		5,471		
194期(2018年10月18日)	6,250	20	△0.8	96.6	△50.8		5,279		
195期(2018年11月19日)	6,172	20	△0.9	97.7	△42.7		5,125		

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			円	%		
第190期	(期 首) 2018年5月18日	6,436	—	%	95.6	△64.2
	5月末	6,216	△3.4		96.0	△64.7
	(期 末) 2018年6月18日	6,283	△2.4		96.0	△61.3
第191期	(期 首) 2018年6月18日	6,263	—		96.0	△61.3
	6月末	6,251	△0.2		96.3	△60.5
	(期 末) 2018年7月18日	6,438	2.8		96.4	△54.7
第192期	(期 首) 2018年7月18日	6,418	—		96.4	△54.7
	7月末	6,334	△1.3		96.1	△54.5
	(期 末) 2018年8月20日	6,162	△4.0		97.1	△55.1
第193期	(期 首) 2018年8月20日	6,142	—		97.1	△55.1
	8月末	6,292	2.4		97.0	△52.5
	(期 末) 2018年9月18日	6,340	3.2		96.6	△49.4
第194期	(期 首) 2018年9月18日	6,320	—		96.6	△49.4
	9月末	6,398	1.2		98.0	△50.1
	(期 末) 2018年10月18日	6,270	△0.8		96.6	△50.8
第195期	(期 首) 2018年10月18日	6,250	—		96.6	△50.8
	10月末	6,191	△0.9		97.1	△48.0
	(期 末) 2018年11月19日	6,192	△0.9		97.7	△42.7

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

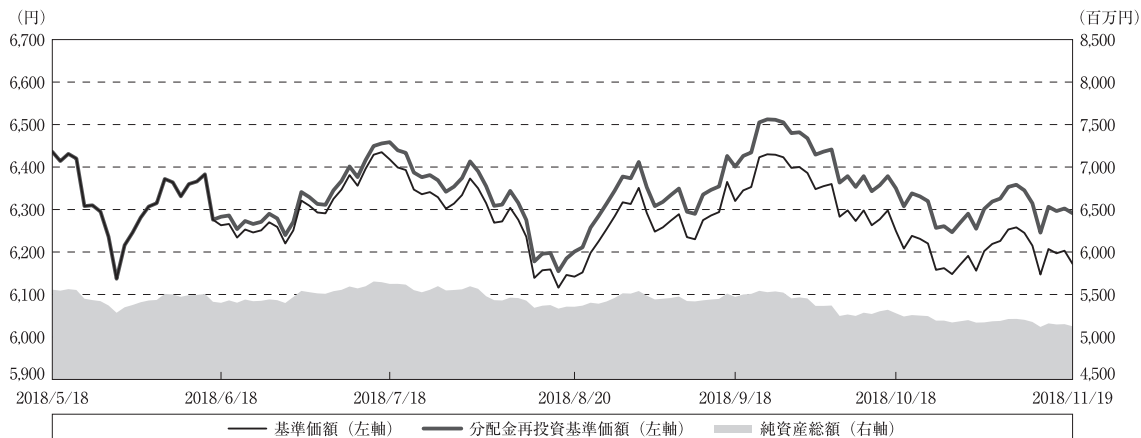
(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2018年5月19日～2018年11月19日)



第190期首：6,436円

第195期末：6,172円 (既払分配金(税込み):120円)

騰落率：△ 2.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2018年5月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期末(2018年11月19日)のLM・ユーロ毎月分配型ファンド(以下、当ファンド)の基準価額(分配金控除後)は6,172円となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はマイナス2.2%(分配金再投資ベース)、基準価額は144円(分配金込み)下落しました。

公社債利金を手堅く確保しました。一方、為替損益については、ユーロ安・円高を受けてマイナスとなりました。

当作成期の欧州債券市場は、利回りが低下（価格は上昇）しました。期の前半は、イタリア政局の混乱を受け、欧州の政治リスクが意識されたことから、欧州域内で安全資産とされるドイツ国債を選好する動きが強まり、利回りは低下しました。また、欧州中央銀行（ECB）が2019年夏まで利上げしない方針を示したことも、利回りの低下要因となりました。期の半ばは、日銀による金融緩和策修正の思惑から債券利回りが世界的に上昇（価格は下落）する場面で、ドイツの国債利回りにも上昇圧力が加わりました。その後、米中貿易摩擦への懸念を背景に、利回りは一時低下しましたが、独企業景況感指数が予想を上回り、ドイツの景気拡大観測が広がると、再び上昇しました。期の後半は、米国の国債利回りが大きく上昇した影響で、ドイツの国債利回りも上昇しましたが、米国株式相場の急落をきっかけに世界的な株安が広がると、利回りは低下に向かいました。当作成期末にかけても、イタリアの財政問題を巡る不透明感などが意識され、利回りに低下圧力が加わりました。



社債セクターは、イタリアの財政問題を巡る不透明感などを背景に、株式相場が前作成期末比で下落したことなどを受け、社債スプレッド（国債に対する上乗せ利回り）は拡大しました。

資産担保証券（ABS）／モーゲージ証券（MBS）市場についても、スプレッドは拡大しました。

当作成期のユーロ・円相場は、ユーロ安・円高となりました。期の前半は、イタリアの政局混乱などを受けて欧州の政治リスクが意識されたことなどから、ユーロは対円で下落して始まりました。その後、ユーロは対円で買い戻されましたが、ECBが2019年夏まで利上げしない方針を示したこともあり、上値の重い展開となりました。期の半ばは、日銀による金融緩和政策の修正観測が浮上したことなどから、ユーロ売り・円買いが優勢となりました。その後は、独企業景況感指数が予想を上回り、ドイツの景気拡大観測が広がったことなどから、ユーロは対円で買い戻されました。期の後半は、米国株式相場の急落をきっかけに主要国の株価が総



じて下落し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、ユーロ売り・円買いが優勢となりました。当作成期末にかけても、イタリアの財政問題を巡る不透明感が改めて意識される中、ユーロは対円で上値の重い展開となりました。

当ファンドは、主に「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指した運用に努めてまいりました。また、原則としてBBB-/Baa3格以上の格付けの公社債へ投資し、ファンドに組入れる債券の平均格付をA-/A3格以上に保ち信用リスクの抑制を図る等、安定的な運用を目指しております。当ファンドの基準価額は、組入債券がユーロ建てで為替ヘッジを行わないため、ユーロ・円相場の変動の影響をそのまま反映しますが、ユーロベースの原資産は金利リスク（債券利回りの変動の影響を受けて、債券価格が変動するリスク）の低減に努め、安定性を重視した運用を行っております。当作成期の運用においては、引き続き高格付債券への投資比率を高位に保ちました。

分配金

(2018年5月19日～2018年11月19日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第190期	第191期	第192期	第193期	第194期	第195期
	2018年5月19日～ 2018年6月18日	2018年6月19日～ 2018年7月18日	2018年7月19日～ 2018年8月20日	2018年8月21日～ 2018年9月18日	2018年9月19日～ 2018年10月18日	2018年10月19日～ 2018年11月19日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 0.318%	20 0.311%	20 0.325%	20 0.315%	20 0.319%	20 0.323%
当期の収益	5	7	5	7	5	5
当期の収益以外	14	12	14	12	14	14
翌期繰越分配対象額	961	948	934	921	907	892

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
 (注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンドは、主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行うファンドです。今後も引き続き、組入債券の信用リスク、金利リスクに配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年5月19日～2018年11月19日)

項 目	第190期～第195期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 14	% 0.219	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(6)	(0.099)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(6)	(0.099)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.003	(b)売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	(0)	(0.003)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	1	0.023	(c)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 等 費 用 ）	(1)	(0.010)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合 計	15	0.245	
作成期間の平均基準価額は、6,280円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年5月19日～2018年11月19日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第190期～第195期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド		441,778	623,708	669,329	949,740

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年5月19日～2018年11月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2018年5月19日～2018年11月19日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2018年5月19日～2018年11月19日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2018年11月19日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第189期末	第195期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド		3,890,174	3,662,623	5,144,521

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2018年11月19日現在)

項 目	第195期末	
	評 価 額	比 率
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド	千円 5,144,521	% 100.0
コール・ローン等、その他	559	0.0
投資信託財産総額	5,145,080	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(5,248,041千円)の投資信託財産総額(5,284,487千円)に対する比率は99.3%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、11月19日における邦貨換算レートは、1ユーロ=128.61円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第190期末	第191期末	第192期末	第193期末	第194期末	第195期末
	2018年6月18日現在	2018年7月18日現在	2018年8月20日現在	2018年9月18日現在	2018年10月18日現在	2018年11月19日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	5,422,654,614	5,663,334,678	5,382,545,489	5,491,778,818	5,298,462,049	5,145,080,074
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド(評価額)	5,421,332,677	5,644,162,802	5,375,509,383	5,490,639,554	5,298,462,045	5,144,521,392
未収入金	1,321,937	19,171,876	7,036,106	1,139,264	4	558,682
(B) 負債	20,727,931	38,804,205	26,782,798	20,469,486	18,979,230	19,303,029
未払収益分配金	17,249,330	17,527,107	17,439,155	17,314,832	16,894,409	16,608,983
未払解約金	1,321,937	19,171,876	7,036,106	1,139,264	4	558,682
未払信託報酬	2,001,735	1,956,800	2,145,158	1,871,588	1,920,194	1,967,348
その他未払費用	154,929	148,422	162,379	143,802	164,623	168,016
(C) 純資産総額(A-B)	5,401,926,683	5,624,530,473	5,355,762,691	5,471,309,332	5,279,482,819	5,125,777,045
元本	8,624,665,470	8,763,553,844	8,719,577,644	8,657,416,488	8,447,204,562	8,304,491,522
次期繰越損益金	△3,222,738,787	△3,139,023,371	△3,363,814,953	△3,186,107,156	△3,167,721,743	△3,178,714,477
(D) 受益権総口数	8,624,665,470口	8,763,553,844口	8,719,577,644口	8,657,416,488口	8,447,204,562口	8,304,491,522口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,263円	6,418円	6,142円	6,320円	6,250円	6,172円

<注記事項>

(注1) 元本の状況

当作成期首元本額 8,634,202,541円

当作成期中追加設定元本額 991,681,760円

当作成期中一部解約元本額 1,321,392,779円

(注2) 元本の欠損

純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,178,714,477円であります。

○損益の状況

項 目	第190期	第191期	第192期	第193期	第194期	第195期
	2018年5月19日～ 2018年6月18日	2018年6月19日～ 2018年7月18日	2018年7月19日～ 2018年8月20日	2018年8月21日～ 2018年9月18日	2018年9月19日～ 2018年10月18日	2018年10月19日～ 2018年11月19日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	△ 128,768,506	155,007,383	△ 216,691,598	171,639,249	△ 40,104,229	△ 45,658,621
売買益	788,163	158,487,605	3,748,012	174,351,488	2,469,055	1,142,129
売買損	△ 129,556,669	△ 3,480,222	△ 220,439,610	△ 2,712,239	△ 42,573,284	△ 46,800,750
(B) 信託報酬等	△ 2,156,664	△ 2,105,222	△ 2,307,537	△ 2,015,390	△ 2,084,817	△ 2,135,364
(C) 当期繰越損益金(A+B)	△ 130,925,170	152,902,161	△ 218,999,135	169,623,859	△ 42,189,046	△ 47,793,985
(D) 前期繰越損益金	△ 433,524,727	△ 559,810,951	△ 396,244,105	△ 607,189,219	△ 424,122,373	△ 461,224,926
(E) 追加信託差損益金	△ 2,641,039,560	△ 2,714,587,474	△ 2,731,132,558	△ 2,731,226,964	△ 2,684,515,915	△ 2,653,086,583
(配当等相当額)	(841,975,384)	(842,562,235)	(827,436,094)	(809,096,931)	(778,728,430)	(753,338,384)
(売買損益相当額)	(△3,483,014,944)	(△3,557,149,709)	(△3,558,568,652)	(△3,540,323,895)	(△3,463,244,345)	(△3,406,424,967)
(F) 計(C+D+E)	△3,205,489,457	△3,121,496,264	△3,346,375,798	△3,168,792,324	△3,150,827,334	△3,162,105,494
(G) 収益分配金	△ 17,249,330	△ 17,527,107	△ 17,439,155	△ 17,314,832	△ 16,894,409	△ 16,608,983
次期繰越損益金(F+G)	△3,222,738,787	△3,139,023,371	△3,363,814,953	△3,186,107,156	△3,167,721,743	△3,178,714,477
追加信託差損益金	△ 2,653,830,351	△ 2,725,633,372	△ 2,743,789,916	△ 2,742,253,015	△ 2,697,036,072	△ 2,665,142,146
(配当等相当額)	(829,209,717)	(831,608,529)	(814,906,080)	(798,107,506)	(766,284,377)	(741,291,895)
(売買損益相当額)	(△3,483,040,068)	(△3,557,241,901)	(△3,558,695,996)	(△3,540,360,521)	(△3,463,320,449)	(△3,406,434,041)
繰越損益金	△ 568,908,436	△ 413,389,999	△ 620,025,037	△ 443,854,141	△ 470,685,671	△ 513,572,331

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	第190期	第191期	第192期	第193期	第194期	第195期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	4,458,539	6,481,209	4,781,797	6,288,781	4,374,252	4,553,420
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	842,000,508	842,654,427	827,563,438	809,133,557	778,804,534	753,347,458
(D) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
分配対象収益額(A+B+C+D)	846,459,047	849,135,636	832,345,235	815,422,338	783,178,786	757,900,878
(1万口当たり収益分配対象額)	(981)	(968)	(954)	(941)	(927)	(912)
収益分配金	17,249,330	17,527,107	17,439,155	17,314,832	16,894,409	16,608,983
(1万口当たり収益分配金)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)

○分配金のお知らせ

	第190期	第191期	第192期	第193期	第194期	第195期
1 万口当たり分配金 (税込み)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）にわかれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

<LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド>

下記は、LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド全体(3,760,507千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第195期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
イタリア	400	407	52,472	1.0	—	—	1.0	—
フランス	1,870	2,445	314,500	6.0	—	—	1.0	5.0
オランダ	4,700	4,722	607,364	11.5	—	—	1.7	9.8
ベルギー	800	797	102,604	1.9	—	—	1.9	—
ルクセンブルク	1,600	1,599	205,697	3.9	—	—	—	3.9
フィンランド	1,900	2,025	260,469	4.9	—	—	—	4.9
その他	27,430	27,994	3,600,382	68.2	—	—	8.7	59.5
合 計	38,700	39,992	5,143,491	97.4	—	—	14.3	83.0

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第195期末				
			利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
イタリア	普通社債券 (含む投資法人債券)	INTESA SANPAOLO SPA	2.0	200	200	25,821	2021/6/18
		UNICREDIT SPA	3.25	200	207	26,651	2021/1/14
フランス	普通社債券 (含む投資法人債券)	CREDIT AGRICOLE SA	—	1,460	2,036	261,878	2020/2/2
		RCI BANQUE SA FRN	0.332	410	409	52,622	2021/4/12
オランダ	普通社債券 (含む投資法人債券)	BAYER CAPITAL CORP B FRN	0.231	700	701	90,252	2022/6/26
		DAIMLER FINANCE FRN	0.284	1,900	1,908	245,417	2019/11/13
		ING BANK NV	1.25	500	507	65,279	2019/12/13
		SHELL INTL FIN FRN	0.081	1,600	1,604	206,415	2019/9/15
ベルギー	普通社債券 (含む投資法人債券)	KBC GROUP NV FRN	0.231	800	797	102,604	2022/11/24
ルクセンブルク	普通社債券 (含む投資法人債券)	ALLERGAN FUNDING SCS FRN	0.034	1,600	1,599	205,697	2020/11/15
フィンランド	普通社債券 (含む投資法人債券)	NORDEA BANK ABP	4.0	1,900	2,025	260,469	2020/6/29
その他	普通社債券 (含む投資法人債券)	ASB FINANCE LTD	0.5	1,700	1,713	220,372	2020/6/17
		AUST & NZ BANKING GROUP	5.125	2,100	2,184	280,892	2019/9/10
		BERKSHIRE HATHAWAY	0.5	2,200	2,215	284,936	2020/3/13
		DANSKE BANK A/S	0.75	2,000	2,016	259,306	2020/5/4
		DNB NOR BANK	3.875	1,800	1,915	246,304	2020/6/29
		EXPORT-IMPORT BK KOREA	2.0	800	823	105,879	2020/4/30
		GOLDMAN SACHS GROUP FRN	0.683	900	910	117,073	2021/7/27
		LLOYDS TSB BANK	6.5	1,600	1,724	221,768	2020/3/24
		NATIONAL AUSTRALIA B FRN	0.252	1,000	1,009	129,817	2021/4/19
		NATIONAL AUSTRALIA BANK	2.0	1,700	1,768	227,434	2020/11/12
		NATWEST MARKETS PLC FRN	0.111	500	498	64,129	2020/6/8
		NYKREDIT FRN	0.251	660	657	84,539	2022/6/2
		NYKREDIT REALKREDIT AS	0.375	1,700	1,706	219,454	2020/6/16
		PKO BNK POLSKI (PKO FIN)	2.324	1,800	1,805	232,146	2019/1/23
		SANTANDER CONSUMER BANK	0.375	2,000	2,007	258,230	2020/2/17
		SKANDINAVISKA ENSKIL FRN	0.281	1,000	1,007	129,544	2020/5/26
		SPAREBANK 1 SMN FRN	0.183	770	773	99,507	2020/11/9
		SPAREBANK 1 SR BANK	2.125	2,200	2,258	290,505	2020/2/3
		WELLS FARGO & CO FRN	0.182	1,000	999	128,536	2022/1/31
合 計						5,143,491	

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄			第195期末	
			買 建 額	売 建 額
外国	債券先物取引	ドイツ国債(2年)2018.12限月	百万円	百万円
			—	2,246

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド

運用状況のご報告

第16期 決算日 2018年2月19日

(計算期間：2017年2月21日～2018年2月19日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」の第16期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	<p>1. 主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指します。</p> <p>2. 原則として、投資を行う公社債はBBB-／Baa3格以上の格付けを有するものとし、又、コマーシャル・ペーパー、譲渡性預金等については、A2／P2格以上の格付けを有するものとします。</p>
主 要 運 用 対 象	国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等
組 入 制 限	外貨建資産への投資には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		騰落	中率			
	円		%	%	%	百万円
12期(2014年2月18日)	15,156		12.7	97.0	△30.3	4,849
13期(2015年2月18日)	14,817	△	2.2	88.6	△	3,583
14期(2016年2月18日)	13,852	△	6.5	94.3	△	2,906
15期(2017年2月20日)	13,133	△	5.2	97.1	△	2,170
16期(2018年2月19日)	14,491		10.3	95.6	△63.9	5,782

(注1) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注2) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	
		騰落	率			
(期首) 2017年2月20日	円		%	%	%	
	13,133	—	—	97.1	△	3.7
2月末	13,049	△	0.6	97.6	△	3.8
3月末	13,125	△	0.1	98.0	△	8.4
4月末	13,247		0.9	97.3	△	8.6
5月末	13,586		3.4	101.4	△	8.7
6月末	14,027		6.8	97.2	△	8.1
7月末	14,226		8.3	92.3	△	25.0
8月末	14,407		9.7	96.7	△	30.1
9月末	14,563		10.9	89.0	△	40.4
10月末	14,454		10.1	76.8	△	39.7
11月末	14,561		10.9	94.1	△	56.0
12月末	14,782		12.6	92.5	△	60.3
2018年1月末	14,817		12.8	96.4	△	62.8
(期末) 2018年2月19日	円		%	%	%	
	14,491		10.3	95.6	△	63.9

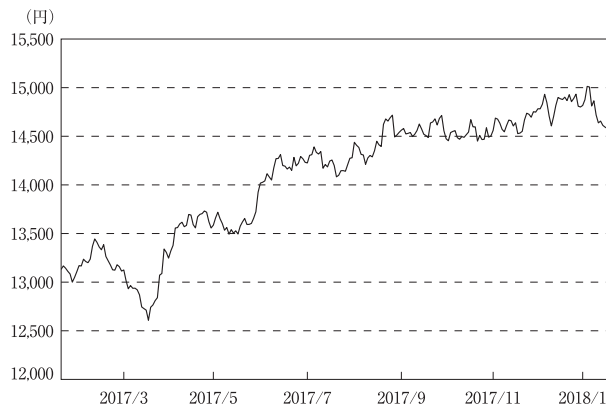
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2017年2月21日～2018年2月19日)



○基準価額の主な変動要因

当期末（2018年2月19日）のLM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド（以下、当ファンド）の基準価額は14,491円となりました。当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス10.3%、基準価額は1,358円上昇しました。

公社債利金を手堅く確保しました。また、ユーロ・円相場がユーロ高・円安となったことから、為替損益もプラスとなりました。

当期の欧州債券市場は、利回りが上昇（価格は下落）しました。期の前半は、方向感の定まらない展開となりました。シリアや朝鮮半島情勢を巡る地政学リスクが高まり、安全資産としての債券が買われたことは、利回りの低下（価格は上昇）要因となりました。一方、混戦の様相を呈していたフランス大統領選が波乱なく終了し、欧州政治リスクの後退が意識されたことは、利回りの上昇要因となりました。期の半ばは、欧州中央銀行（ECB）による量的緩和政策縮小の時期が想定よりも早まるとの見方が市場で広がったことから、利回りは上昇しました。しかしその後は、北朝鮮情勢の緊迫化が意識され、安全資産とされる債券を買う動きが強まったことなどから、利回りは低下しました。期の後半は、スペイン・カタルーニャ自治州の独立問題を背景に安全資産とされる債券が買われ、利回りは低下しました。しかしその後は、ECBによる金融政策の正常化が進むとの観測が広がったことなどから、利回りは上昇しました。

社債セクターについては、欧米の株式相場が前期末に比べて上昇したことなどに支えられ、社債スプレッド（国債に対する上乗せ利回り）は縮小しました。資産担保証券（ABS）／モーゲージ証券（MBS）市場については、MBSセクターを中心にスプレッドが縮小しました。

当期のユーロ・円相場は、ユーロ高・円安となりました。期の前半は、シリアや朝鮮半島情勢を巡る地政学リスクの高まりにより、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、ユーロ売り・円買いが一時強まりました。しかしその後は、混戦の様相を呈していたフランス大統領選が波乱なく終了し、欧州政治リスクの後退が意識されたことなどから、ユーロ買い・円売りが優勢となりました。期の半ばは、ECBが想定よりも早く量的金融緩和の縮小を決めるとの思惑が広がったことなどから、ユーロは対円で上昇し、その後もECBによる緩和縮小観測などを背景にユーロ買い・円売り



が優勢となりました。期の後半は、スペイン・カタルーニャ自治州の独立問題を受けて欧州の政治リスクが意識され、ユーロは対円でやや上値の重い展開となりました。その後は、ECBによる量的緩和縮小の思惑を背景にユーロ買い・円売りが優勢となりましたが、米国株式相場の急落をきっかけとした世界的な株安を受けてリスク回避姿勢が強まると、ユーロ売り・円買いが優勢となりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として、ユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指した運用に努めてまいりました。また、原則としてBBB－／Baa3格以上の格付けの公社債へ投資し、ファンドに組入れる債券の平均格付をA－／A3格以上に保ち信用リスクの抑制を図る等、安定的な運用を目指しております。当ファンドの基準価額は、組入債券がユーロ建てで為替ヘッジを行わないため、ユーロ・円相場の変動の影響をそのまま反映しますが、ユーロベースの原資産は金利リスク（債券利回りの変動の影響を受けて、債券価格が変動するリスク）の低減に努め、安定性を重視した運用を行っております。当期の運用においては、引き続き高格付債券への投資比率を高位に保ちました。

○今後の運用方針

当ファンドは、主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行うファンドです。今後も引き続き、組入債券の信用リスク、金利リスクに配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

○1万口当たりの費用明細

(2017年2月21日～2018年2月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 1 (1)	% 0.005 (0.005)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	2 (2)	0.014 (0.014)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	3	0.019	
期中の平均基準価額は、14,070円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年2月21日～2018年2月19日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
			千ユーロ	千ユーロ
外 国	ユーロ			
	フランス	社債券(投資法人債券を含む)	3,066	280 (600)
	オランダ	社債券(投資法人債券を含む)	2,734	700 (1,000)
	ベルギー	社債券(投資法人債券を含む)	800	—
	フィンランド	社債券(投資法人債券を含む)	—	1,420
	アイルランド	社債券(投資法人債券を含む)	—	1,001
	その他	社債券(投資法人債券を含む)	29,679	6,745

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利息分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国	債券先物取引	百万円 —	百万円 —	百万円 8,295	百万円 4,689

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2017年2月21日～2018年2月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年2月19日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
フランス	2,110	2,785	367,951	6.4	—	—	0.9	5.4
オランダ	5,000	5,059	668,248	11.6	—	—	—	11.6
ベルギー	800	809	106,952	1.8	—	—	1.8	—
その他	31,930	33,197	4,384,709	75.8	—	—	54.3	21.5
合 計	39,840	41,852	5,527,860	95.6	—	—	57.1	38.5

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千ユーロ	千ユーロ	千円		
ユーロ							
フランス	普通社債券 (含む投資法人債券)	CREDIT AGRICOLE SA	—	1,700	2,371	313,209	2020/2/2
		RCI BANQUE SA FRN	0.321	410	414	54,741	2021/4/12
オランダ	普通社債券 (含む投資法人債券)	COOPERATIEVE RABOBANK UA	1.75	1,000	1,019	134,601	2019/1/22
		DAIMLER FINANCE FRN	0.271	1,900	1,917	253,243	2019/11/13
		ING BANK NV	1.25	500	513	67,759	2019/12/13
		SHELL INTL FIN FRN	0.071	1,600	1,609	212,644	2019/9/15
ベルギー	普通社債券 (含む投資法人債券)	KBC GROUP NV FRN	0.221	800	809	106,952	2022/11/24
その他	普通社債券 (含む投資法人債券)	ASB FINANCE LTD	0.5	1,700	1,717	226,882	2020/6/17
		AUST & NZ BANKING GROUP	5.125	2,100	2,262	298,802	2019/9/10
		BERKSHIRE HATHAWAY	0.5	2,200	2,226	294,028	2020/3/13
		COLGATE-PALMOLIVE CO FRN	—	700	702	92,808	2019/5/14
		DANSKE BANK A/S	0.75	2,700	2,749	363,127	2020/5/4
		DNB NOR BANK	3.875	2,100	2,295	303,224	2020/6/29
		EXPORT-IMPORT BK KOREA	2.0	800	831	109,822	2020/4/30
		GOLDMAN SACHS GROUP FRN	0.673	900	921	121,772	2021/7/27
		LLOYDS TSB BANK	6.5	1,600	1,811	239,288	2020/3/24
		NATIONAL AUSTRALIA B FRN	0.242	1,000	1,015	134,166	2021/4/19
		NATIONAL AUSTRALIA BANK	2.0	1,700	1,791	236,647	2020/11/12
		NORDEA BANK AB	4.0	2,500	2,740	361,938	2020/6/29
		NYKREDIT FRN	0.241	660	666	88,041	2022/6/2
		NYKREDIT REALKREDIT AS	0.375	1,700	1,714	226,478	2020/6/16
		PKO BNK POLSKI (PKO FIN)	2.324	1,800	1,837	242,739	2019/1/23
		ROYAL BK OF SCOTLAND FRN	0.104	500	503	66,443	2020/6/8
		SANTANDER CONSUMER BANK	0.375	2,300	2,316	305,943	2020/2/17
SKANDINAVISKA ENSKIL FRN	0.271	1,000	1,012	133,795	2020/5/26		
SPAREBANK 1 SMN FRN	0.171	770	776	102,607	2020/11/9		
SPAREBANK 1 SR BANK	2.125	2,200	2,293	302,980	2020/2/3		
WELLS FARGO & CO FRN	0.172	1,000	1,008	133,168	2022/1/31		
合 計					5,527,860		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄	柄	別	当 期 末	
			買 建 額	売 建 額
外国	債券先物取引	ドイツ国債(2年)2018.3限月	百万円	百万円
			—	3,694

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2018年2月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 5,527,860	% 95.6
コール・ローン等、その他	255,890	4.4
投資信託財産総額	5,783,750	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(5,654,623千円)の投資信託財産総額(5,783,750千円)に対する比率は97.8%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2月19日における邦貨換算レートは、1ユーロ=132.08円です。

○特定資産の価格等の調査

(2017年2月21日～2018年2月19日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年2月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	5,849,790,943
コール・ローン等	187,383,242
公社債(評価額)	5,527,860,765
未収入金	72,488,146
未収利息	25,882,721
前払費用	17,456,047
差入委託証拠金	18,720,022
(B) 負債	67,633,649
未払金	66,406,500
未払解約金	1,226,842
未払利息	307
(C) 純資産総額(A-B)	5,782,157,294
元本	3,990,277,534
次期繰越損益金	1,791,879,760
(D) 受益権総口数	3,990,277,534口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,491円

<注記事項>

(注1) 元本の状況

期首元本額	1,652,757,654円
期中追加設定元本額	5,073,125,396円
期中一部解約元本額	2,735,605,516円

(注2) 期末における元本の内訳

L.M・ユーロ毎月分配型ファンド	3,873,784,690円
L.M・ユーロ短期債ファンドVA (適格機関投資家専用)	116,492,844円

○損益の状況 (2017年2月21日～2018年2月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	28,502,970
受取利息	28,569,701
支払利息	△ 66,731
(B) 有価証券売買損益	194,284,430
売買益	236,260,794
売買損	△ 41,976,364
(C) 先物取引等取引損益	5,358,440
取引益	7,579,880
取引損	△ 2,221,440
(D) 保管費用等	△ 492,587
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	227,653,253
(F) 前期繰越損益金	517,745,473
(G) 追加信託差損益金	2,292,876,312
(H) 解約差損益金	△1,246,395,278
(I) 計(E+F+G+H)	1,791,879,760
次期繰越損益金(I)	1,791,879,760

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。